■□■
☆　　★
★　岩手産業保健推進センター　メールマガジン　第４７号　　☆
☆　　●2012／9／20　★
★　　☆
■□■

いつも岩手産業保健推進センターをご利用いただきありがとうございます。
ようやく、朝晩は涼しくなってきました　　～～～
スポーツの秋、食欲の秋、読書の秋、皆さんはどのような秋を過ごされますか

岩手産業保健推進センター／メンタルヘルス対策支援センター

－－－

家屋敷が無くなってしまったことには、あきらめもつくが、家族の震災死別はあきらめられない。苦しい……特に子供との別れは、忘れられないのは当然である。子を持つ親なら誰でもその苦しみ・悲しみは痛いほどわかる。
その悲しみ・苦しみに対して私たちは寄り添う事しかできない……

大震災から１年半。被災者の思いに温度差が大きく出てきている。
１年半といえども昨日の事のように思えるのは私だけだろうか？

２年ぶりの安全大会に参加している殆どが被災者で、仮設に住んでいる労働者である。
被災１ヵ月目から現地の状況を見てきた。全て流された陸前高田の市内。
生きているのが不思議なくらいの惨状。

「支えあおう心といのち」を講演しながら聴講者の顔をみるのが辛かった。
震災後１年半経ったが、まだまだ片付かない被災地で、被災者自ら瓦礫分別している。
「絶対に忘れないでほしい。頑張っている東北被災地、被災者を！」
と叫びたくなる安全大会でした。

◎◎◎